

**取組名：向島駅前環境整備と活性化
—共助社会の整備—**

**団体名：NPO法人向島駅前まちづくり協議会
役職名：会長
氏名：福井 義定**

取組の目的、目指していること：

向島ニュータウンも、入居40年が経過し、住民の少子高齢化が進み、地域の活性化が急速に失われつつあります。

特に住民の高齢化によって、コミュニティ活動が弱体化し、地域の活性が失われ、高齢者や弱者の日常生活に支障をきたすに至っています。これを補完するため、地域に居場所や交流の場を作り、コミュニティにおける共助の仕組みづくりをめざしています。

令和元年度の主な活動内容：

(1) 向島駅前「青空朝市」の開催

2017年10月から、向島駅前ローソン駐車場で高齢者の買い物サポートと居場所・交流の場作りを目的として向島駅前「青空朝市」を始め、今年で3年目に入り、地域の朝市として定着してきています。

○毎月第3日曜日の10時～11時30分まで、12回（1回当たり、来店者50・60名～程度）開催。

令和元年度の主な活動内容：

(2) 2018年6月から、高齢者の居場所づくりと障がい者の方と住民の交流の場づくり、子育て中の親子の交流の場づくりを目的とする向島駅前「わいわい元気バザール」を障がい者施設「あいりん館」と共催で開催しています。

このバザールも出店者が**20店舗**を超え、野菜、パン、クッキー、弁当などの食べ物から、衣類、小物等多数の商品が並ぶようになってきています。最近では、**3～4組のバンド**がボランティアで歌や演奏をして、会場を訪れた高齢者や障がい者の方などが楽器の演奏を聴いたり楽器の演奏で歌を唄ったりして、このバザールを訪れた多くの地域の人たちと楽しく交流する場所となっています。

〇6月9日（日）、9月22日（日）、12月22日（日）の10時～14時まで（いずれも来場者150～200名程度）開催。

※3月22日（日）はコロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。

令和元年度の主な活動内容：

(3) 高齢者の「楽しく交流講座」の開設

この講座は、高齢者の新たな交流の場として、大正琴の演奏を聴いたり、演奏にあわせて、大正や昭和の歌を唄ったり、借り農園で育てた野菜を食べたり、野菜の絵をかいたり、身体を使って意欲的に参加してもらう取組です。

大正琴の演奏は、住民の高齢の方（93才）が担当しています。地域の高齢者が講師を担当する講座を増やしていきたいと考えています。

- ①「大正琴を楽しむ」は、4月、6月、8月、10月、12月、2月の第3木曜日10時～12時まで開催（3街区E棟集会室）（参加者15～20名程度）
- ②「楽しくやさしい作り」は、随時実施（借り農園）（参加者7、8名程度）



活動において苦勞したこと、苦勞を乗り越えた対策など：

「朝市」については、天候や出店業者の調整、「元気バザール」については、規模が大きくなり、参加者も増えているので、10名あまりのスタッフでは運営が難しくなってきたので、今後、支援ボランティアの協力を増やしていきたい。

「楽しく交流講座」については、講座のテーマと講師探しに苦勞しているが、ニーズ調査などして、有意義な楽しい講座を開設していきたい。

令和元年度の活動の成果：

「朝市」「元気バザール」「楽しく交流講座」、いずれも、一度振り返りが必要であるが、参加者も増えつつあり、地域の高齢者等の居場所として定着してきている。今後も改善しながら、活動を継続していきたいと考えている。

今後の活動展望：

高齢者、障がい者、子育て世代の母親等弱者と言われる人を対象に居場所づくりなどの支援とコミュニティにおける共助の仕組みを整備する活動を行ってきました。来年度も「朝市」や「元気バザール」の開催は続ける予定です。この他、昨年度計画した学童保育の試行は、様々な事情で実施することが出来ませんでした。年度末に向島秀蓮小中学校の1～4年の約350名の生徒を対象に学童保育のニーズアンケート調査を実施しました。今年度は、アンケート結果の分析を参考にして、実施の準備を進めたいと考えています。

自由記載（ニュータウン・地域をこうしていきたいという思いや報告会参加者への呼びかけなど）

「高齢者、障がい者、子育て世代の母親等弱者と言われる人を対象にした居場所づくりなどの支援活動への地域住民の皆さんの積極的な参加を呼びかけたい。」